

平成 28 年度障害者就業・生活支援センター ティーダ&チムチム実績報告

【総括】

① 障害者就業・生活支援センター事業

今年度から全国 325 センターの事業実績が始まり、事業成果、活動、業務運営達成状況や優れた取り組み事例などを沖縄県評価委員会が審査し点数化され全国的に公表された。日々の支援は数字で評価されない面も多々あるが、支援員の日々の活動状況を把握し個々の業務管理を行い、次年度は更に無駄のない支援スケジュールを管理し取り組む必要がある。

また関係機関とのチーム支援、個人情報管理の強化を図り、企業への定着支援並びに雇用管理支援を行った。

② 登録者・企業支援

定着支援の重要性が求められており行政は力を入れているが、定着支援は最初のジョブマッチングが重要であり、登録者・企業双方のアセスメント力が上がるように日々の支援をフィードバックしスキルアップを図った。また個々の価値観ではなく専門職として何が必要なのかを意識し出来、登録者・企業ニーズと課題解決に取り組み、相手から必要とされる支援員を目指すよう心掛けた。

また「差別解消法」を意識し企業支援を行う必要性があり、外国人労働者の増加等雇用現場の変化を見極め障がい者の支援に取り組む必要性があった。

③ 関係機関連携と地域貢献

- ・ 沖縄県発達障害者支援体制整備委員
- ・ 沖縄県技能五輪・アビリンピック推進協議会アビリンピック選手育成専門委員
- ・ 沖縄県キャリア教育・修朗支援等の充実事業就業支援ネットワーク委員
- ・ 沖縄県北部圏域自立支援連絡協議会就労部会部会長
- ・ 生活保護受給者等就労自立促進事業担当者連絡会

上記委員会に参加している。

また、沖縄県商工労働部雇用政策課主催で「障がい者雇用啓発セミナー」を開催し、沖縄県内の支援関係者、企業の人事担当者等 150 名が参加し就労支援のスキルアップと企業の障がい者雇用の底上げにつながった。

④ 今後の取組

平成 29 年度は「就業・生活支援センター事業評価」を意識した支援を行う。

仕事の定着に向けて支援目標を明確にして日々の業務に取り組む。

徹底した「個人情報保護」意識と管理。

「支援の質」と「対象者の生活の質」を絶えず意識しながら数字も伸ばせるように努力を行いたいと思う。

【関係資料】 状況報告（平成29年3月31日現在）

（1）登録状況（障がい別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳 機能・難病	合計
在職中	43	102	66	16	227
求職中	59	69	89	16	233
その他	0	8	33	0	41
合計	102	179	188	32	501

（2）平成27年度新規求職者数（障がい別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳 機能・難病	合計
職場実習	3	14	1	2	20

（3）職場実習あつせん件数（障がい別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳 機能・難病	合計
職場実習	2	28	6	5	41

（4）就職件数（障がい別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳 機能・難病	合計
職場実習	4	18	6	2	30

（5）支援件数（障がい別）

	身体	知的	精神	発達・高次脳 機能・難病	合計
支援件数	386	2,651	563	741	4,341